

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	文学B		
英文授業科目名	Literature B		
開講年度	2005年度	開講年次	1、2年次
開講学期	2、4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>近代小説の名作を生み出しつづけて「一時代」を画した三人の文豪の「人と作品」を深く考える。具体的には、大正時代を代表する文豪である芥川龍之介、時代を超えた「女性の美」を追い求めた谷崎潤一郎、時代小説の名作を書き続けた山本周五郎の三人である。</p> <p>彼らの作品は、今なお現代人に何を訴えているのか。日頃、理工系の専門教育で疲れ切っている諸君の頭脳を、よりいっそう疲れさせるのが芥川龍之介であり、一挙に暗雲を吹き払って癒してくれるのが、山本周五郎である。谷崎潤一郎は、まさしく「魔」の作家。悪とか魔についての免疫力があまりない電通大生にとって、谷崎潤一郎にここで触れておくことは実社会に出てからの「免疫力」アップにつながるかもしれない。</p> <p>さまざまな小説に、ここで触れてみようではないか。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
<p>特に、なし。</p> <p>ただし、前期に「文学A」を履修しておくこと、いっそう深く学習できる。</p>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
<p>特に、なし。</p> <p>ただし、前期に「文学A」を履修しておくことを、強く勧める。</p>

【教科書等】

教科書：新潮文庫編『文豪ナビ・芥川龍之介』（新潮文庫）  
新潮文庫編『文豪ナビ・谷崎潤一郎』（新潮文庫）  
新潮文庫編『文豪ナビ・山本周五郎』（新潮文庫）

【授業内容とその進め方】

三冊の教科書を、一冊ずつ読んでゆく。順番は、芥川龍之介・谷崎潤一郎・山本周五郎の順序である。一冊ずつは廉価だし、読んで楽しめるように工夫されているので、諸君の経済的・時間的な負担はほとんどない。

むろん、教科書の解説だけではなく、小説の実物をプリントして配布しながら、鑑賞する。

知識人の弱さを見せつけ、短編詩が書けなかった芥川龍之介。

他人を踏みつけながら、自分の芸術を完成させて、長編小説を量産した谷崎潤一郎。

長編も短編も書き分け、「人の生きるべき道」を誠実に探究した山本周五郎。

芥川と谷崎は東京帝国大学卒だが、山本は小学校しか出ていない。でも、山本周五郎の文学は、ある意味で芥川や谷崎よりも「感動的」である。その秘密は、どこにあるのか。

この講義を聴くことで、諸君にはいくも「考えるヒント」が得られることだろう。それが、「文学に触れる人生」の第一歩である。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末の論述式試験を、最重視する。ただし、学期途中で小レポートを課す。この小レポートを未提出であれば、試験の成績からワンランク下げる。また、時々出席を取る。

講義内容を理解しようとしたか、講義に触発されて進んで読書し、思索を重ねて自分の考えを持つに至っているか。自力で文学作品の分析が可能か、などの観点から採点を行う。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

前期の「文学A」の受講者でなくとも、聴講を認める。

例年、不思議なことに、文学Aの成績よりも、文学Bの成績の方が平均点が低い。おそらく、前期で単位が取れたことに満足し、後期の学習がおろそかになっているのだろう。

前期の文学Aで「優」や「良」だった学生も、気を引き締めて、文学Bに望んでほしい。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【その他】